

ともに学び、ともに育つ

～交流及び共同学習の推進～

交流及び共同学習の意義

群馬県では、障害の有無にかかわらず、誰もがお互いを認め合い、生き生きと活躍できる共生社会を築くことを目指し、「交流及び共同学習」の積極的な実施を推進しています。

「交流及び共同学習」には、障害のある子と障害のない子が一緒に活動し、ふれ合うことで、お互いが豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、それぞれの教科等の学習上のねらいの達成を目指した共同学習の側面があります。



交流及び共同学習を積極的に推進することは、障害のある子の自立と社会参加を促すとともに、将来の社会を担うすべての子どもたちにとって、共に助け合い、支え合って生きることの大切さを学ぶ機会となり、そのことは、共生社会の形成に役立つものと考えます。

群馬県教育委員会

平成 25 年 3 月